

有限会社ちくさん緑化（佐田町）

代表取締役 持田圓治

社長さんは
こんなかた

造園業務で出る刈り草を何かに利用できないかと考え畜産の世界に。山深い土地で、湧き水を飲ませ、病害の伝染を防ぐために牛舎を点在させるなど、独自の発想で勝負する精力的な社長。

有限会社ちくさん緑化

事業内容 畜産（肉用牛）
堆肥製造・販売

島根県出雲市渡橋町 3 9 8
(0853)21-2051

（牧場）

島根県簸川郡佐田町反辺 8 1 7 - 8
(0853)84-0005

（規模）

肥育 500頭

繁殖 200頭

きっかけはリサイクル

株式会社もちだ園芸の関連会社として平成8年に有限会社ちくさん緑化を設立しました。平成9年に栗園跡地を取得し、肥育、繁殖牛舎、たい肥処理生産施設などを設け周辺の山林に約30haの放牧場、中海干拓農地に10haの牧草栽培地などを確保し、肉牛の一貫生産を行っております。現在繁殖牛180頭、肥育牛300頭を飼育しており、毎月10頭程度、主に東京芝浦市場に出荷しています。

刈り草を飼料として活用

本業の造園における管理業務（公園や堤防などの除草作業、刈り草）で発生する刈草などを与えて飼育しています。

飼料にならない発生材（固い草、木材チップ、剪定くずなど）は牛糞に混ぜて堆肥化することにより、すべてリサイクルが可能です。生産した堆肥は、造園工事の土壌改良材、果樹栽培用、吹付工事の基盤材として販売しています。



深い山中に点在する牛舎と湧き水

うちの牧場は、大体海拔360mくらいのところで、周りは山に囲まれています。ここは良い湧き水があり、その湧き水をポンプでくみ上げて牛に与えています。

この場所は蠅などの虫が少なく、牛糞などにも虫が発生せず、病害の発生などを防いでいます。さらに、うちの特徴として、一つ一つの牛舎を離すことによって万が一病害が発生しても広がらないような管理体制があげられます。畜産が抱えるリスクを、安全な自然の環境を利用して対処しています。





事業の拡大とリサイクルの確立

受胎率、肥育の増体重の安定等の技術を向上させ肉牛一貫体制の早期確立を目指し、肥育500頭、繁殖牛200頭、導入100頭の体制にし、品質の良い島根和牛の安定供給のための努力をしています。

今後、牛舎のある山の頂上で風力発電を行い、施設の電気を賄うことも考えています。長年取り組んできた造園業と畜産業との結びつきを強化することによって「緑のリサイクルシステム」を確立させ、グループ会社全体として少しでも地域社会に貢献できるよう取り組んでいくことがわが社の努めであると考えています。

